



熊本・大分 復興支援ニュース_18

(旧 平成28年熊本地震情報)

上記ロゴはコープ九州事業連合作成
「熊本地震支援ロゴ」です

2016.05.30 Monday

日本生協連 広報部

益城町総合体育館での高齢者・障がい者支援について

今回の地震により、甚大な被害を受けた益城町および熊本県高齢者障害者福祉生協より熊本県生協連へ、被災地の高齢者・障がい者支援要請がありました。

益城町等では被災により、行政機能が一部麻痺しており、災害の最弱者である高齢者・障がい者等への支援が喫緊の課題となっています。

熊本県生協連からの要請を受け、日本生協連では5/9に先遣隊を益城町へ派遣し、支援を開始しました。

益城町総合体育館では介助が必要な高齢者の入浴介助や食事配膳、益城町の介護老人福祉施設では重度介護者への介護・介助、障がい者が一時的に避難している施設での入浴介助や見守り支援等を行っています。



避難所の外で、避難者と語る
コープあいち 尾崎正悟さん。

派遣元生協との調整を務める
現地コーディネーター
広島県生協連の岡崎晃さん。



避難所のあちこちに
貼られた寄せ書きや
メッセージ。

お礼の手紙が届きました



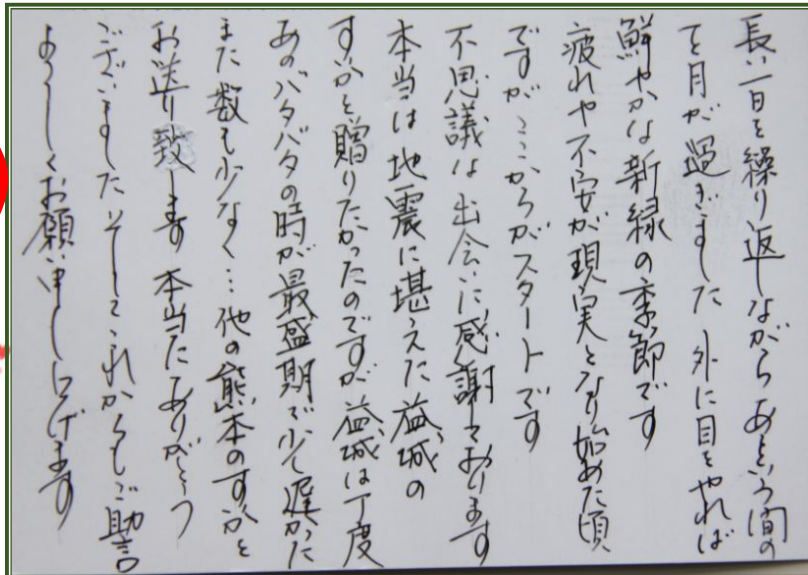
ひろやす荘の外観。特別養護老人ホームの他に、訪問介護事業所、ショートステイ、デイサービス、居住介護支援事業所、在宅介護支援センターの機能を持った複合施設です

支援の対象施設のひとつである「特別養護老人ホーム ひろやす荘」は益城町中心部近くにあります。今回、生協では高齢者への介護・介助を中心に支援しています。今回、ひろやす荘から支援に対するお礼として、手紙とスイカを頂戴しましたのでご紹介いたします。

高齢者・障がい者支援は、6月5日までを予定しており、全国の生協の協力のもと、のべ270人の支援体制で進めていきます。



手紙とスイカを受け取った日本生協連の職員



ひろやす荘からの手紙